

平成17年度教育訓練の実施状況について

消防大学校は、平成17年度に31回の教育訓練を行い、学科701人(前年度比7.3%減)、実務講習778人(同36.5%増)、計1,479人(同11.5%増)の学生を育成しました。同年度の教育訓練は前年度と比較して、違反是正講習会を廃止したものの、新規に航空隊長コース、国民保護コース、新任消防長・学校長コースを開設しており、その結果卒業生が大幅増となったところです。

これまでの卒業生は、戦後早期の消防講習所時代から累計すると、学科3万1,066人、実務講習1万1,195人、計4万2,261人となりました。平成18年度の教育訓練は、本誌No.417で紹介しましたとおり回数、定員、内容とも充実しているところですので、よろしくお願いします。



卒業を祝う

消防大学校教育訓練の実施状況等

区分			平成17年度までの実績						平成18年度計画	
			消防講習所	消防大学校		卒業生数 合計				
			昭和23.6 ～昭和34.3 卒業生数	昭和34.4 ～平成17.3 卒業生数	平成17年度 回 数		卒業生数	回 数	定員	
学 科	総合教育	本 科	796	2,524	1	34	3,354	(統合)		
		幹 部 科	(未実施)	2,217	2	108	2,325	4	240	
		上級幹部科	668	3,484	1	29	4,181	1	48	
		新任消防長・学校長科	(未実施)				0	2	120	
	専科教育	消防団長科	453	1,554	2	33	2,040	2	96	
		警 防 科	(未実施)	5,232	2	120	5,352	2	120	
		救 助 科		2,298	2	96	2,394	2	96	
		救 急 科		3,093	2	66	3,159	2	72	
		予 防 科	386	5,050	2	119	5,555	2	120	
		危 険 物 科	(未実施)	327	(未実施)		327	1	48	
		火災調査科		382	2	96	478	2	96	
		新任教官科		244	(未実施)		244	1	72	
	その他（専修科等）		817	840	(廃止)		1,657	(廃止)		
	計		3,120	27,245	16	701	31,066	21	1,128	
実務講習	緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	(未実施)	255	1	59	314	1	48	
		高度救助コース		(未実施)		0	1	48		
		特別高度救助コース		(未実施)		0	1	15		
		N B C コース		194	1	47	241	1	33	
	航空隊長コース	(未実施)		1	35	35	1	60		
	航空隊コース	371		1	36	407	2	72		
	トップマネジメントコース	321		2	177	498	2	136		
	防災実務管理者コース	1,663		3	115	1,778	2	108		
	国民保護コース	(未実施)		2	112	112	2	108		
	自主防災組織育成コース	43		1	47	90	1	48		
	その他	新任消防長・学校長コース	(未実施)	2	78	78	(学科移行)			
		火災調査講習会	2,640	(学科移行)		2,640	(学科移行)			
		消防教育訓練コース	3,936	1	72	4,008	(廃止)			
		消防学校長研修会等	994	(廃止)		994	(廃止)			
計		0	10,417	15	778	11,195	14	676		
合 計		3,120	37,662	31	1,479	42,261	35	1,804		

注 平成18年度の区分により整理した。
過去の教育訓練は、学科・実務講習別に、内容に応じて振り分けた。

予防科第79期・警防科第78期成績優秀者

予防科第79期(平成18年1月10日から3月15日)は、消防、建築に対する性能規定化の導入を受けて、新たに清水建設(株)技術研究所の視察研修を取り入れて、予防業務に関する知識と技術の修得を図りました。成績優秀者は、札幌市消防局(北海道)・伊藤 武、両磐地区消防組合消防本部(岩手県)・菊地和哉、石岡市消防本部(茨城県)・小菅 勲、高岡市消防本部(富山県)・牧 真、松山市消防局(愛媛県)・西岡克仁、北九州市消防局(福岡県)・小清水 豊の各氏でした。なお、平成18年度からは、予防科から危険物教育を分離し、新たに危険物科を創設します。スリムになる予防科ともどもご期待ください。

警防科第78期(平成18年1月17日から3月10日)は、

警防業務の監督者及び指導者としての資質の向上を目的として、消防を取り巻く現状と課題、消防法制、さらには消防戦術や部隊運用、監督者としての安全管理、教養指導資料の作成発表に加え、実科訓練では、火災想定訓練や多数傷病者事故対応等の指揮に重点を置いたカリキュラムを編成し実施しました。受講された皆さんは課題に積極的に取り組むとともに、研修期間中の自己啓発の目標達成にも熱心に励んでいました。成績優秀者は、札幌市消防局(北海道)・藤田敏晴、富山県消防学校・中谷博之、静岡県消防学校・南條淳士、名古屋市消防局(愛知県)・植野光司、彦根市消防本部(滋賀県)・上原正彦、吹田市消防本部(大阪府)・近澤龍児の各氏でした。

【お知らせ】 4月1日に解散した独立行政法人消防研究所の後継組織として消防大学校内に設置された「消防研究センター」の所在地は、本校の所在地(東京都調布市深大寺東町4-35-3)により表示することとなりますので、念のためお知らせします。
(注) 旧消防研究所の施設を引き継いで使用することとしており、移転するわけではありません。
また、電話番号(代表0422-44-8331)、FAX番号(0422-42-7719)は変更ありません。